

**CTT+コンピュータ・ベータ・テストの練習問題**

下記4問はCTT+知識テストの出題方法に形式や内容が類似しています。これらの問題は練習を目的としており、出題方法に精通してもらうためのものです。各問題を読んで答えを一つ選び、次のページの解説と照らし合わせて下さい。

**設問1**

グループディスカッションの中である受講者が、議論されている内容が実際の職場でのどのような状況に当てはまるのか質問をしています。インストラクターにとって以下のどれが最も良い対処法ですか。

- a) その内容がより一般的な状況にどう当てはまるかをその受講者に伝える。
- b) その内容が職場にどう当てはまるかをその受講者に質問する。
- c) クラスのメンバーにその内容がそれぞれの職場の状況にどう当てはまるか議論するように促す。
- d) 職場の状況の情報をもっと集めてから、解答を与える。

**設問2**

この質問では、下記に提示されたアクションによりトレーナーが目標を達成できそうか、あるいはできそうにないかを決めなさい。アクションが目標を達成させる又はさせないという理由に最も適した記述を選びなさい。

トレーナーの目標： グループディスカッションでのキーポイントを強調する。

受講生へのアクション： 1人がそれ以上の生徒にグループディスカッションを要約してもらう。

- a) 達成する。なぜなら受講者が積極的にその要約に関わるから。
- b) 達成する。なぜならインストラクターがその要約に先入観を加えないから。
- c) 達成しない。なぜなら受講者が要約で些細なポイントを強調するかもしれないから。
- d) 達成しない。なぜならインストラクターが包含しなければならないキーポイントを見落とすから。

**設問3**

この質問では、下記に提示されたアクションによりトレーナーが目標を達成できそうか、あるいはできそうにないかを決めなさい。アクションが目標を達成させる又はさせないという理由に最も適した記述を選びなさい。

トレーナーの目標： トレーニングセッションの結果として受講者が得た知識の量を評価する。

受講生へのアクション： コース終了後の評価アンケートで、参加者にどれくらい学習したと思うか尋ねる。

- a) 達成する。なぜなら無記名のアンケートは参加者に真実を述べやすくするから。
- b) 達成する。なぜなら、アンケートの結果はコース終了後のレポートの一部としてまとめられるから。
- c) 達成しない。なぜなら、自己報告型記述は獲得した知識を数量化することはできないから。
- d) 達成しない。なぜなら、コース参加者はコース内で提供された知識を仕事上で利用しなくてはならないから。

**設問4**

インストラクターは、後のトレーニングセッションで参照するためにグループディスカッションの中からアイデアをつかもうとしているのですが、手書きしたチャートが理解しづらいことがわかりました。この問題に対する最も良い取り組み方は、 -

- a) 大グループを小グループに分割し、それぞれのグループにアイデアを書き出し提出してもらう。
- b) ディスカッション中、フリップチャートを書くのが得意な受講者を募り、フリップチャートにグループのアイデアを書いてもらう。
- c) OHPシートにグループのアイデアを書き、OHPで写す。
- d) ディスカッション中、グループのアイデアを書き留めるための用紙を受講者に与える。

設問 1

正解は “c” です。

試験分野 4B 『様々な質問形式とテクニックの使用』に関連

**解説:** 選択肢 c は、参加者を上手に参加させ、スキルと実践をつなげる機会を与え、スキル習得の動機付けをもたらします。また、参加者は特定の状況とその議論されている内容を関連付けて考えることができます。選択肢 a と d は、実際の職場でどのように役立てられるかを適切に表していません。選択肢 b は、受講者は既に議論されている内容を職場の状況に適用しようとしていても、そのつながりを見出せない状況であると想定すべきなので、若干見下した態度を表しています。

設問 2

正解は “a” です。

試験分野 4A 『受講者中心の環境作りと環境維持』に関連

**解説:** 選択肢 a は、受講者中心のアプローチで、インストラクターがすぐに対応できる課題です。また、インストラクターは習得されたことを確認することができます。選択肢 b の場合、インストラクターの偏見の有無は、目的の達成には関係がないため不正解です。選択肢 c と d は不適当な対応のため、不正解です。インストラクターは、まとめのプロセスを導くことが必要ですが、細かなポイントが含まれているかどうかについては気にするべきではありません。クラスをきちんと管理していれば、コントロールしきれなくなることはありません。

設問 3

正解は “c” です。

試験分野 5B 『インストラクターの能力と教え方の評価』に関連

**解説:** 選択肢 c は、トレーニング前後に行うテストを作成するような、さらに計画性のある測定方法の必要性を提案しています。選択肢 a 及び b は、コース終了後の評価アンケートが知識を測定するのに効果的に使用できないため不適当です。両者ともコース終了後評価の良さについて触れていますが、トレーナーの目標は知識を数量化するレベルを作ることです。選択肢 d は、良いトレーニングはコースの内容を業務上活かすことができるという点で、一部正解です。しかし、受講生のアクションがトレーナーの目標を達成しない理由ではありません。

設問 4

正解は “b” です。

試験分野 2B 『教育媒体の使用』に関連

**解説:** 選択肢 b は、レッスンの後半で概念を簡単に復習できるため、最も確実です。また、ディスカッションや他の直接的なアクティビティよりも、受講者が安心して参加できる方法です。選択肢 a は、時間がかかり、進行役の誘導がほとんどないと思われるため不適当です。選択肢 c の場合、OHP の使用は、あとで参照する際に手間がかかるので不適当です。選択肢 d は、グループ全体の共通の参考資料がインストラクターに残りません。(受講者全員が各自のリストを持つと、内容がすべて異なることが予想されます。)